

理科 分散登校中の学習内容【6月1日(月)から6月30日(火)】

5年生の家庭学習の課題です。調べるための簡単な参考資料を紹介していますが、本やインターネットなど可能な範囲で、各自が資料を見つけて詳しく調べられるといいと思います。

ノートの書き方について！これからは、ノート例を参考に、学校で配られた理科のノートに記入します。

★「ノートは、後で自分が説明できるようにするためのもの」

＝自分で説明できるということは、身についているということです。

★「理科のノート」に記入します。理科のノートは、研究成果の記録、足跡、証拠、根拠となる大切なデータ資料です。説明の通りにノートに記入します。初めに見通しをもって、書くようにします。学習問題をページの初めに書き、ページも終わりかまたは、見開き2ページ目の終わりに結論が来るようにコントロールして書けるようにします。新しい内容になった時、ページの途中から始めることになっても、新しいページに変えたり、隙間をあけたりしないで、つめて書くようにして、次は区切りよく終わるように心がけるようにして、トレーニングします。詳しくは、学校での授業の時に説明します。

※4年生の時の「人の体と運動」の学習の時の記録の仕方を思い出してみましょう。その時は、先生がノートを区切りました。

気象情報を生かすことによって、人間は自然災害から身を守るだけでなく、快適な暮らしをすることができるようになりました。科学の力を生かして豊かな暮らしをしているのです。「豊かな暮らし」とは、ただ生きているだけではありません。衣・食・住が満ち足りていることがその第一歩です。皆さんは、おなかですいたら野山や海に食料を取りに行かなくても食料を得ることができます。人間は、植物を栽培して収穫したり、魚や動物を育てたりして、食料をいつでも得られるように工夫しています。5年生では、植物や動物の誕生や成長の仕組みを調べ、暮らしに役立てる方法を考えます。

ここでの学習は、植物や動物の誕生や成長を研究するための準備となります。

家庭学習 10時間目 「植物のたん生と成長」

春になると一気に植物は、花を咲かせます。校庭の花壇にもたくさん野草の花が見られました。休校期間中に草むしりをして、種まきをしました。種まきをした後も次々と野草が目を出してしまい草むしりに追われています。野草は、どうして誰も種子をまいていないのに勝手に目を出すのでしょうか？3年生の時に学びましたね。さて、このように人間は、好きな時に好きな場所に、まくことができるように種子を保存することができます。植物を研究し種子ができる仕組みを解明しているからです。

種子はどのようにして手に入れることができるのでしょうか。種子ができる秘密を探っていきましょう。

課題13 ① 植物が、たくさん花を咲かせるのはなぜだと思いますか。ノート例1のようにノートに日付とタイトルを書いて、考えを描きましょう。

ヒント：下の写真



ユリの花を訪れた蝶の羽に花粉がたくさんついています。



アブラナを訪れたミツバチの足に花粉(花粉団子)がついています。

② アブラナの実の中にある種子とアブラナの地上部分です。アブラナの実は地上部分のどの部分が変化したものだと考えられますか。なぜそう考えたのか、ノート例1を参考にして、図を描いて説明しましょう。

参考:教科書 2 ページ

アブラナの実と種子

アブラナの地上部



B 棒のような部分

A 葉の部分



棒のような部分を割ると・・・

←棒のような部分を割ったところ
棒のような部分は「実」のようです。



花びらが残っているもの



③ ②で答えた部分は、どこが変化してできたのでしょうか。ノート例1を参考にして、図を描いて説明しましょう。

参考:教科書 2 ページ

茎をよく見ると右上や下のような咲き終わった花がありました。



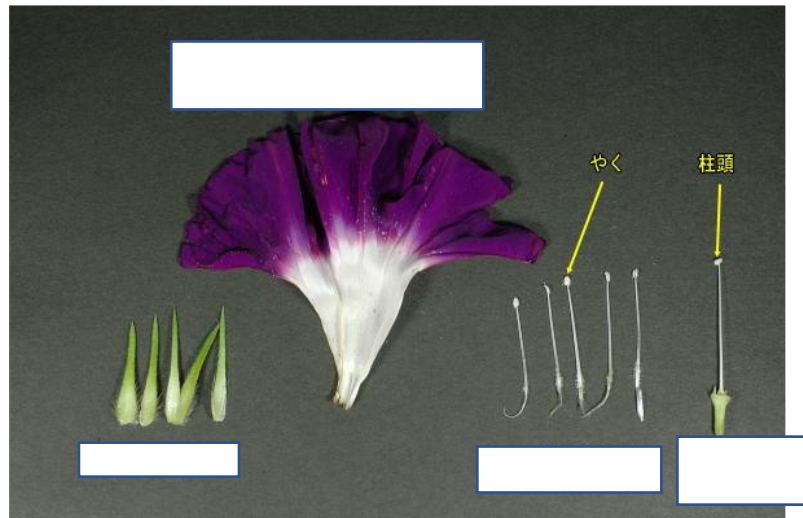
咲き終わりが近づいた花



実になる部分は、花の中にあるようです。

④ 教科書の2ページを見て、ノート例1のように、花のつくりを図に書いて、各部分の名前をおぼえておきましょう。

⑤ 下の写真はアサガオの花をバラバラにした様子です。ノートに図を描いてそれぞれの部分の名前を書きましょう。
 参考:アサガオは、合弁花(ごうべんか)と言って、花弁が一つに合体している花です。このことにより昆虫が花の奥まで、花のみつを吸いに入り込むので、体に花粉をたくさんつけることができます。花が進化した結果といわれています。
教科書 70 ページ



⑥ 最後に今日の学習で、新しく発見したことや疑問・もっとしらべたいことなどを書いておきましょう。

ノート例1

